

1 文献名
『敬和小学校創立五十周年記念誌 えのきとともに』
2 学校名
敬和小学校
3 災害名
嘉保3年(1096年)永長東海地震
4 記述の概要
(1) 雨や風、地震などの様子
(2) 学校内や地域の被害の状況
地震と津波により、安濃津の民家に大きな被害が出た。(P52)
(3) 復旧の様子
(4) 体験談
(5) 教訓など
(6) その他

1 文献名
『敬和小学校創立五十周年記念誌 えのきとともに』
2 学校名
敬和小学校
3 災害名
昭和 34 年（1959 年）伊勢湾台風
4 記述の概要
（1）雨や風、地震などの様子

（2）学校内や地域の被害の状況

（3）復旧の様子
津市内の専修寺では、伊勢湾台風の被害地から学童を受け入れた。（P83）
（4）体験談

（5）教訓など

（6）その他

1 文献名
『敬和小学校創立五十周年記念誌 えのきとともに』
2 学校名
敬和小学校
3 災害名
昭和 28 年（1953 年）台風第 13 号
4 記述の概要
（1）雨や風、地震などの様子
（2）学校内や地域の被害の状況
台風第 13 号により、敬和地区は甚大な被害となった。 津市内では、高潮により海岸堤防などが決壊して、市内の大半が浸水し、災害救助法が発動された。（P81）
（3）復旧の様子
（4）体験談
台風当日、敬和小学校では、通常より当直が 2～3 人増強されていた。朝方目が覚めたら、一面が海になっていた。（P136）
（5）教訓など
（6）その他

1 文献名
『敬和小学校創立五十周年記念誌 えのきとともに』
2 学校名
敬和小学校
3 災害名
昭和 19 年（1944 年）東南海地震
4 記述の概要
（1）雨や風、地震などの様子
（2）学校内や地域の被害の状況
津市内では、死者 3 人、負傷者 45 人の被害が発生し、木橋であった旧岩田橋が折れた。（P57）
（3）復旧の様子
（4）体験談
（5）教訓など
（6）その他

1 文献名
『敬和小学校創立五十周年記念誌 えのきとともに』
2 学校名
敬和小学校
3 災害名
明治3年（1870年）の大暴風雨
4 記述の概要
（1）雨や風、地震などの様子
（2）学校内や地域の被害の状況
大暴風雨により、市内の家屋の75%が浸水し、贅崎町では潰家が21軒、死者6人、片浜町組では床上浸水60軒などが出た。（P55）
（3）復旧の様子
（4）体験談
（5）教訓など
（6）その他

1 文献名
『敬和小学校創立五十周年記念誌 えのきとともに』
2 学校名
敬和小学校
3 災害名
嘉永7年（1854年）安政伊賀上野地震
4 記述の概要
（1）雨や風、地震などの様子
6月14日午前2時頃大地震が発生した。激震は夜明けまでに20余回に及んだ。 (P54)
（2）学校内や地域の被害の状況
円通寺、天然寺、本徳寺等の本堂が大破した。(P54)
（3）復旧の様子
（4）体験談
（5）教訓など
（6）その他

1 文献名
『敬和小学校創立五十周年記念誌 えのきとともに』
2 学校名
敬和小学校
3 災害名
文政2年(1819年)文政近江地震
4 記述の概要
(1) 雨や風、地震などの様子
(2) 学校内や地域の被害の状況 寒松院の座敷が破損した。(P54)
(3) 復旧の様子 蔵町町民10人に改築費として35両が貸し付けられた。(P54)
(4) 体験談
(5) 教訓など
(6) その他

1 文献名
『敬和小学校創立五十周年記念誌 えのきとともに』
2 学校名
敬和小学校
3 災害名
宝永4年(1707年)宝永地震
4 記述の概要
(1) 雨や風、地震などの様子
大地震があった。(P53)
(2) 学校内や地域の被害の状況
(3) 復旧の様子
(4) 体験談
(5) 教訓など
(6) その他

1 文献名
『敬和小学校創立五十周年記念誌 えのきとともに』
2 学校名
敬和小学校
3 災害名
明応7年(1498年)明応地震
4 記述の概要
(1) 雨や風、地震などの様子
(2) 学校内や地域の被害の状況
地震と津波により、安濃津の港と町が壊滅的な打撃を受けた。(P52)
(3) 復旧の様子
永禄2年(1559年、明応地震の61年後)、明応の地震によって壊滅した西来寺が西方の柳山へ移して改築された。(P53)
(4) 体験談
(5) 教訓など
(6) その他

1 文献名
『敬和小学校創立五十周年記念誌 えのきとともに』
2 学校名
敬和小学校
3 災害名
昭和 49 年（1974 年）7 月の豪雨
4 記述の概要
（1）雨や風、地震などの様子
（2）学校内や地域の被害の状況
集中豪雨により、津市内では、一身田、白塚、栗真の各地区が大きな被害を受け、災害救助法が発動された。（P87）
（3）復旧の様子
（4）体験談
（5）教訓など
（6）その他